

ツイッターやフェイスブックなどソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）を使い、メッセージを一方的に送りつけたり、行動を監視したりする「サイバーストーカー」の被害が急増しています。

SNSで公開したわずかな

個人情報から好意や恨みを持たれ、付きまとわれるリスクがあります。

ネット上のトラブル相談に応じる

「全国WEBカウンセリング協議会」

（東京）によると、2012年に10件

## 「サイバーストーカー」急増

だった相談件数が13年は97件、15年は471件と急増しています。

サイバーストーカーから身を守るSNSの利用法は①個人情報の公開は友達まで②行動範囲を特定される

内容を載せない

③GPS機能を切って撮影する

④交際相手と別れたら、パスワードを変える⑤危険を感じたらSNSをやめる——など、被害に遭わないよう注意しまし

よう。

防犯一口メモ